

認定農業者における経営管理能力と法人化意向

利用対象：行政、普及指導員

- ◎ 認定農業者の法人化推進にあたり、法人化の意向把握と経営管理に関する 26 項目を認定農業者に自己評価してもらいました。これらの項目の因子分析を行った結果、経営管理能力に「販売管理」「事業計画性」「労働環境」「作業管理」「情報活用」「財務安全性」「財務管理」の 7 つの因子があると解釈できました（表 1）。
- ◎ 7 因子の得点を個人ごとに算出し、経営管理能力を「高」「中」「低」の 3 つに分類したところ、法人化の意向が強い経営体は経営管理能力も高い傾向になりました。（図 1）。
- ◎ 法人化に向けて支援を行う際には、経営管理能力の発展段階に応じて、個々の認定農業者に合わせた支援が必要となります。

表 1：経営管理能力を構成する 7 つの因子とその評価項目

因子	経営管理に関する自己評価項目
販売管理	現在、複数の販売ルートを持っており、それらを適切に組み合わせている 顧客からの要望を掴むための仕組みを持ち、十分活用している 合理的な販売活動のため、消費者動向の把握、市場の調査等を行っている 実需者（卸売者や小売業者など）との十分な交渉力を持っている 販売額の変動の原因について検討している 農産商品に関するクレームには迅速に対応し、正確な記録を残している 資材の購買に当たりいくつかの販売店の価格を調べている
事業計画性	中・長期経営計画を具現化するため、6か月、1か年等の短期計画が立てられている それら経営計画は作目・部門ごとに建てられている 経営計画の数値と実績の比較検討が適切に行われている 経営者として明確な経営理念を持っている 常に現場を回り問題点の把握に努めている
労働環境	家族員、雇用者の休日は定期的に取りれるようになっている 家族員の労働時間は適切である（家族員は過重労働になっていない） 労働環境は整頓され働きやすい 経営内容に関する家族員の意思疎通は十分図られている
作業管理	作業改善を積極的に行っている 現在の作業体系は効率的である 作業者の安全管理は十分である 作業者は日々の作業結果（作業時間、生産量、作業条件等）を作業日誌に記録している
情報活用	情報を得るために、積極的に研修会・勉強会等に出席している 研修で得た知識や技術を経営の中で積極的に活用している
財務安全性	子供の就学、住宅建築、老後の生活のための資金は計画的に準備している 借入金に対する支払い能力は十分である
財務管理	複式簿記による記帳管理を正確に行っている 収入と費用を把握し、農業経営管理に役立させている

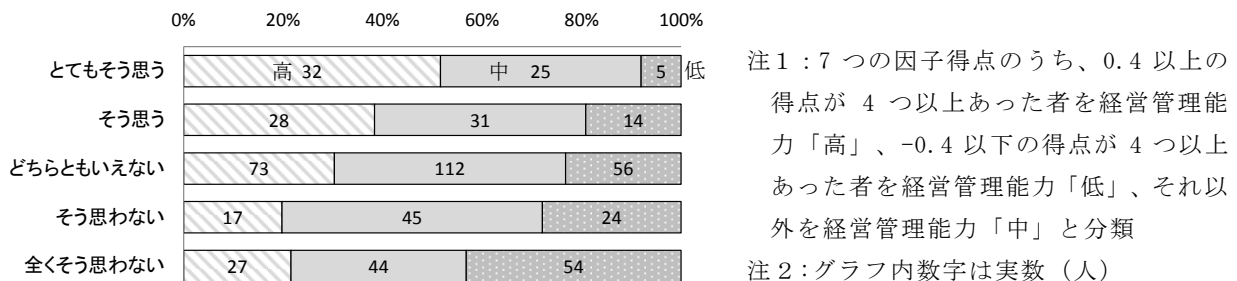


図 1：法人化の意向と経営管理能力

お問い合わせ先	生産技術研究室 地域連携研究課 飯場聡子 電話 0598-42-6356
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm